

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	雨水活用建築ガイドライン改定小委員会		主 査 名：大西 和也 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 企画刊行運営委員会		委員長名：岩田 利枝 主 査 名：羽山 広文
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ AIJES-W0002-2011「雨水活用建築ガイドライン」の改定 ・ 2017 年度：改定箇所抽出、改定案 (DS) 完成、シンポジウム開催 ・ 2018 年度：査読・パブリックコメント、改定版発行 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	主査：大西和也 (雨水貯留浸透技術協会) 幹事：尾崎昂嗣 (秩父ケミカル)、笠井利浩 (福井工業大学)、福岡孝則 (東京農業大学) 委員：村川三郎 (広島大学名誉教授)、岡田誠之 (東北文化学園大学名誉教授)、神谷博 (法政大学)、青木一義 (西原衛生工業所)、小川幸正 (NPO 雨水市民の会)、屋井裕幸 (雨水貯留浸透技術協会)、宋城基 (広島工業大学)、摺木剛 (丸一)、森孝 (三栄水栓製作所)、向山雅之 (竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2017 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	11 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	実施なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 42 回水環境シンポジウム「雨水活用建築ガイドラインの改定と雨水活用の最新情報紹介」 (資料名) 同上 参加者数 53 名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	実施なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 改箇所の抽出、改定案 (DS) の完成：ほぼ計画通り 2. シンポジウムの開催 (3/8 実施予定)：計画通り
委員会活動の問題点 ・ 課題	特になし

- * 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
- * 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

2017 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ、当初の計画通り進行中ではあるが、改定案（DS）の完成が遅れたため、シンポジウムの開催時期が1ヶ月程遅れた。 ・ 改定用図表作成作業の遅れ 			

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。